

## 「松原公園周辺」の将来像イメージ（第1回懇話会）

### ○必要なこと

- ・この場所の**歴史背景・伝統**とその意義を理解すること
- ・佐賀の人にこの場所の良さを知ってもらうこと

### ○大事にしたいもの

- ・佐賀の魅力のひとつである**豊かな歴史と文化、鍋島家の伝統と品格**
- ・松原に佐嘉神社が創建された意味（別格官幣社、市民・県民の思い）
- ・佐嘉神社の大楠など、**緑豊かな樹々**や**松原川の水の流れ**

### ○松原公園周辺にあってほしいもの、期待するもの

- ・歴史ある大事なエリアだということを市民が自慢できるように
- ・昭和10年ごろの一番格調高かったまちの中心部に近い形を目指す
- ・城内、くすかぜ広場、中央大通りからの人流や賑わいをつくりながら、神社等へも参拝。**多くの人に歩いてもらえるまちづくり**
- ・**たくさんの人が集う場所、学びの場、心の拠り所、経済活動の場所**
- ・思い出の場所、**大切なランドマーク**
- ・土地の個性や文化が肌で感じられ、若者たちが訪れやすく、愛着を覚えるような場所に
- ・地域全体を“大名庭園”の中に落とし込む

## 「松原公園周辺」の将来像キーワード

### 歴史を引き継ぐ

- ・歴史背景・伝統とその意義
- ・豊かな歴史と文化
- ・鍋島家の伝統と品格
- ・学びの場

### 賑わいの創出

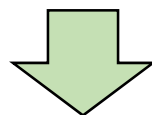
- ・多くの人に歩いてもらえるまちづくり
- ・たくさんの人が集う場所
- ・経済活動の場

### 水辺

- ・松原川の水の流れ
- ・明るい松原川通り

### 緑

- ・緑豊かな樹々
- ・大きな楠
- ・観賞する緑、憩いの緑



佐賀の歴史・文化を感じる場所／心の拠り所／アイデンティティの確立

## 「松原公園」整備のキーワード（第2回懇話会）

- ・ 歴史は歴史として、未来につながるような整備を
- ・ 自分のふるさとと歴史を人に話すことができる場所に
- ・ 歴史と社会活動・経済活動などを結び付ける視点
- ・ 若い人が集まり、魅力を感じる場所に
- ・ 若い人向けに無理やり仕掛けを作ったり、新しいものを創るよりは、既にあるものに目を向ける
- ・ 回遊が着眼点
- ・ 何を持ってくると人の動きがどう変わるか議論のうえで整備を
- ・ 松原神社と徴古館の東西軸だけでなく南北の軸の強化
- ・ 松原川沿いを抜け道にしない、貫通道路との導線を考える
- ・ 松原マーケットの活用。俗と聖の同居
- ・ 公園はほっとできる場所という意見ともったいないという意見
- ・ 大名庭園（生活があって、色んな機能が内蔵）を参考にとという意見

